

Library News

京教図書館 ニュース

2015年4月号 No.175

わくわく Kyo²ライブラリー
読書キャンペーン
館長賞決定!!

昨年10月から2月末まで実施された、「わくわく Kyo²ライブラリー 読書キャンペーン」の館長賞が決定され、平成27年3月31日(火)に表彰式が行われました。

対象となるコメントBは148枚提出されました。その中から特に優秀なコメントを書かれた橋本浩恵さん(連合教職実践研究科1回生)と黒崎瑞枝さん(美術領域専攻2回生)のお二人が選ばれ、館長室で行われた表彰式において、太田耕人館長から賞状と賞品が贈られました。

(※受賞者の学年、および館長名は3月31日当時のものです)

橋本さん(写真左)と黒崎さん(同右)、おめでとうございます!



橋本浩恵さんがコメントを書いた本
『子どもの力を引き出す板書・ノート指導のコツ』
岩瀬直樹、川村卓正著、ナツメ社、2010
(ナツメ教育書ブックス)。
開架西館 2階 375.1 || I96



館長から賞状が授与されました



黒崎瑞枝さんがコメントを書いた本
『ルポ虐待の連鎖は止められるか』
共同通信「虐待」取材班著、岩波書店、2014
(岩波ブックレット; No.915)。
新書南館 2階 080 || I95 || 915

図書館員の
つぶやき(4)

～読書キャンペーンを終えて～

図書館のカウンター窓口を業務委託してから、丸4年になります。カウンター対応はほぼ業者さんがされるので、私たち図書館職員が学生のみなさんと接するのは、基礎セミナーや各種講習、企画の受付や相談の時などです。日常的な接点がほとんどない中、みなさんにとってよい図書館とは!? どうすれば教育学修効果があがる場所になれるのか? etc. を有る知恵と無い知恵を絞って日夜検討しています。一昨年の大規模な増改修も落ち着き、ハード面はある程度整備されたと思われるのと、次はソフト面での充実を考えています。2014年度から「わくわく KYO²ライブラリー」と題して、"わくわく"できるような図書館を目指して企画しています。第一弾である読書キャンペーンはいかがだったでしょうか? 今年度は、読書キャンペーンだけでなく、アンケートなども参考にランニングコモンズでの新しいサービスや新リクエストなどを検討中です。たまに、学生さんとお話しする機会があるとオバチャン(だけではないのですが…汗)パワー全開とばかりいろいろ聞きまくるかもしれません、みなさんの思いも聞かせていただければと思っています。

図書館はみなさんのまなびをいつでも応援しています

わくわく Kyo²ライブラリー
読書キャンペーンは、今年度も実施を予定しています。実施について決まったら、ホームページなどでお知らせいたします。

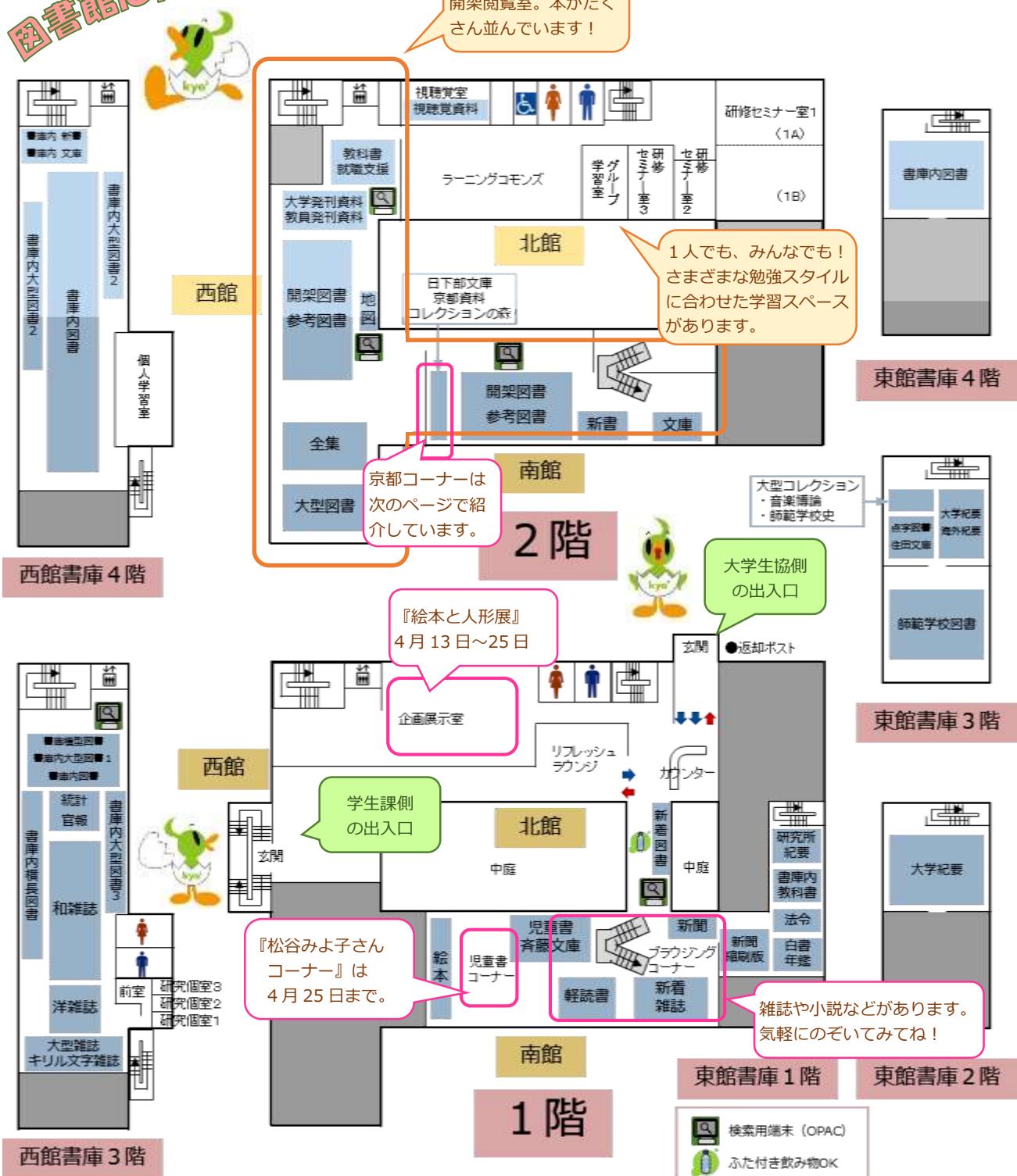
新入生のみなさんへ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
みなさんの大学生活が豊かなものとなるよう、図書館職員一同、心からお祈りしております。

図書館は、正門からのメインストリートに面した4階建ての建物で、1階には学生課があります。学術書・雑誌がメインですが、入門書も多くそろえています。また、小説や絵本、一般雑誌なども置いていますので、まずは一度見に来てください♪



図書館に行ってみよう！



教えて？図書館のこと！



本は何冊まで借りられますか？

学部生は7冊2週間、院生は12冊4週間まで（うち、視聴覚資料は2点1週間まで）です。



パソコンは使えますか？

北館2階ラーニングコモンズに情報処理センター(IPC)のパソコンがあり、IPCと同じ条件で利用できます。また、館内には無線LANが整備されています。



飲食できるところありますか？

館内は飲食禁止です（1階渡り廊下のみ、ふた付きの飲み物はOK）。

ただ、ゲートの外のリフレッシュラウンジには自動販売機があり飲食OKですので、ぜひ休憩時間などにご利用ください。

もっと知りたい！ そんなあなたには…

図書館ツアーや 講習会に参加しよう！

下記の日時に図書館ツアーを実施します。参加希望者はリフレッシュラウンジにお越しください。

4月6日(月)～8日(水) 12:20

4月9日(木)～10日(金) 10:30, 12:10, 14:40

4月13日(月)～14日(火) 12:10, 14:40, 16:50

※各回30分程度。終了後、本の探し方のコース（OPAC図書基礎編）にも参加できます。

◎学部1回生の方は、図書館ツアーや本の探し方については基礎セミナーの授業時間内にも行います。各専攻ごとの図書館ガイダンスの時間をご確認ください。

◎本や論文の探し方などを教える講習会も順次実施していきます。詳しくは、図書館ホームページやポスターなどで！

Pickup！コ～ナ～～京都コーナー～

新入生のみなさんの中には、今春から京都に来たという方もいるのでは？京都についてもっと知りたい！という方はぜひ京都コーナーをご覧ください。

どこ？

南館2階の窓際にあります。少し奥まっていますが、実はこれから5月にかけて窓の外のハナミズキが見頃になる、おすすめポイントなのです。



ここも見てみて！→南館1階のソファの近くに、雑誌『Leaf』

『関西ウォーカー』『京都』を置いています。最新情報を入手しよう！

こんな本をPickup！

『京都伏見歴史紀行』請求記号:291.62||Y 31

1983年発行ですが高校社会の教科書で有名な山川出版社の出版で、さすがの詳しさです！

『京都ミュージアム探訪』請求記号:069.02||KY 6

約200件のミュージアムを豊富な写真で紹介。実は148ページを開いてみると…？

『京都 CF. 250号』請求記号:291||KY 6||250

「まどろみの京都喫茶ロマン」の特集号です。訪れる前には最新情報を確認してくださいね。

イベント案内

絵本と人形展「おはなしの世界へようこそ！」

「うたとおはなしの会」の人形劇で上演した作品の中から、5つのお話を選びました。人形と関連図書の展覧会です。

ぜひご覧ください！

【日時】2015年4月13日(月)～25日(土)9:00～17:00

※4月19日は休館

【場所】附属図書館北館1階 企画展示室

★簡単手作りワークショップ

「こいのぼりを作ろう」(平野利江)

4月18日(土)10:30～11:00

場所：附属図書館内《先着50名》

赤ずきんより



第24回うたとおはなしの会

新緑の若葉がまぶしい季節になり、キャンバスに咲く花にちょうちや蜂たちが集まってきました。4月11日から始まる絵本と人形展の最終日に、うたとおはなしの会を開催します。今回も春を感じられるうたとおはなしをたくさんご用意しました。大人気の人形劇は「鳥の王様コンテスト」です。羽自慢の鳥たちが素敵なうたやダンスを見せてくれます。ぜひご家族そろって見に来てください。

【日時】2015年4月25日(土)10:30～11:30

【場所】附属図書館北館2階 研修セミナー室1

えほんのもり

今月の読み聞かせ会はおやすみです。

次回は、

5月18日(月)に開催します。（児童書コーナー）

ミニコーナー 松谷みよ子著作

展示期間：2015年3月16日(月)～4月25日(土)
(休館日を除く)

展示場所：附属図書館 南館1階 児童書コーナー

「龍の子太郎」や「モモちゃんとアカネちゃん」シリーズなどで知られる児童文学作家の松谷みよ子（まつたに・みよこ、本名・美代子＝みよこ）さんが2015年2月28日に老衰のため89歳で亡くなられました。松谷みよ子さんのご冥福をお祈りするとともに、松谷さんが私たちに残してくれた作品を、一人でも多くの方に読んでいただきたいと思いこのコーナーを設けました。



今回の執筆者 荻野 雄 (社会科学科 准教授)

「曖昧な自我の哲学 一山崎正和と同時代の日本一」

荻野 雄

京都教育大学紀要. 2014, No.125, pp. 147-163

高度経済成長が終焉した1970年代、日本は根底的な転換の時代を迎えました。劇作家で評論家の山崎正和は、同時代のこの精神的変動に強い関心を抱き、一連の著作でその探査を試みてきました。

1974年の『不機嫌の時代』は、明治40年代の文学に不機嫌という共通の気分を指摘する研究ですが、そこでは同時に、日露戦争後の状況から「現在」を照射することも意図されていました。当時と同様、近代化を成し遂げたという意識の広まった1970年代においても、人は自分が近代的自我の理想に反して曖昧な存在であると感じ、不快と苛立ちを感じていたのです。山崎は、再び日本人を侵食しているこの気分の政治的な危険を強調しながらも、近代的な自我理解を相対化していく点で、それに積極的な意義も認めました。

1982年の『演技する精神』は、こうした着眼を引き継いで、近代的な自我の行動様式を、意志による身体運動の篡奪として批判します。そのうえで、近代で抑圧されていた身体的リズムの復権が、演技という虚構的行為を通じて模索されます。山崎によれば演技とは、様々な役のリズムを受動的かつ能動的に刻むことであり、演技する人間は、自我の分裂や曖昧さを進んで承認していくのです。そして、大きな反響を呼んだ1984年の『柔らかい個人主義の誕生』では、消費活動も演技の一種であり、それゆえ消費社会化と共に、一貫性を核とする従来の硬い個人に代わる、柔らかい個人が誕生すると説かれます。山崎は、目的至上主義が退潮しつつあった戦後日本に、新たな針路を提示したのでした。

しかし、20世紀末からのグローバリゼーションの波は、「日本型システム」の機能不全と相まって、硬い個人主義を再興させました。時代のこの趨勢が個人を苦境に追い込んでいると見た山崎は、2003年の『社交する人間』で、やはり演技的な交流である社交のうちに、救済の可能性を探っていました。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要125号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyoko-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4/9 前期授業開始

2015年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyoko-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyoko-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード→



京教図書館 News No.175(2015年4月号)

発行日: 平成27年4月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyoko-u.ac.jp



京都教育大学